

**情報通信審議会情報通信技術分科会
CISPR 委員会 D グループ (第 5 回) 議事録 (案)**

- 1 開催日時：平成 22 年 8 月 31 日 (火) 10:30~11:50
- 2 開催場所：中央合同庁舎第 2 号館 1 階 共用会議室 4
- 3 出席者：(順不同)
【委員】塚原主任 (日産自動車)、野島幹事 (トヨタ自動車)、久保委員 (NHK)、
垂澤委員 (NTT ドコモ)、野村委員 (TELEC)、前田委員 (アイシン精機)、山
中委員 (NICT)
【事務局】浦賀、加賀谷、郷藤 (総務省)、三塚、田上 (TELEC)
- 4 議事概要
 - (1) 事務局から配付資料の確認が行われた。
 - (2) 事務局から委員の交代の説明があり、新任者の挨拶があった
NHK 代表は本田委員から久保委員への交代、アイシン精機前田委員、TELEC 野村委員
の追加が紹介された。
 - (3) 資料 D5-1 前回議事録案は、修正意見等があれば事務局に 1 週間以内に連絡する
ことで承認された。
 - (4) 資料 D5-2 CISPR シアトル会議 SC/D 対処方針案、について野島幹事から提案説明が
あり、下記の議論の後、承認された。
 - ・資料 D5-2 6.1 項は HV が抜けないように注意すること。
 - ・8 項 CISPR25 第 4 版改定作業に入る と修正。
 - ・8.2 項 WD 発行による次版作業着手になるか？確認するに修正
 - ・次回開催 年次総会に開催したいとの意見があった。
 - (5) 資料 D5-3 JAPAN final working draft_CISPR_12_7th_edition_V3_0_02、につい
て野島幹事から提案説明があり、下記の議論の後、承認された。
 - ・日本の提案は充電モードでの EMI 測定を追加するものであり、p12 図 1 の左側に充
電時のフローを追記し、p23 本文に 5.3.2.3 項を追記する。
(車載充電器：AC/DC インバータからの充電時のノイズを考慮)
 - ・Annex I (p56) は前回提案の一部修正版である。
 - ・受信アンテナ高さを固定しているのでヌルがあり、前後±25MHz で判定する。
 - ・p58 のグラフにおいて、メタルグランドプレーンのデータは削除した。
 - (6) 資料 D5-4 CISPR シアトル会議 JWG (A/D Site Val) 対処方針 (案)、資料 D5-5 JTF
暗室検証の状況まとめ-3、資料 D5-6 Japanese Comments for Chamber Validation
September 2010-1 が前田委員から提案され、下記の議論の後、承認された。

- ・ 車載部品の測定時は、最小 2.5m×1mの平板を 90cm高さにおき、後ろ側の壁か床に接地しているが、オープンサイトでは接地が難しい。
- ・ リファレンスサイトも、実測時と同一の設定条件で測定すべきである。
- ・ 日本としてオープンサイトで接地する測定法を提案する。
- ・ CISPR25 の許容値は CISPR22 に比較すると 10~30dB 厳しい。

(7) 資料 D5-7 CISPR シアトル会議 D 関係参加者案が事務局から提案され、承認された。
なお、JWG (A/D Site Val) には A グループのエキスパートの参加もある。

(8) その他

- ・ SC/D 対処方針案は、CISPR 委員会向けにこのまま使用する。
- ・ シアトル会議の総会他の登録は CISPR 委員会で承認後に手続きする。
- ・ 次回会合は未定。

以 上